



プレスリリース

一般社団法人 日本原子力学会

2011年3月11日に発生した東日本大震災において、多くの方々が犠牲となられ、また被災されましたことについて心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

日本原子力学会は、社会的関心の高い科学技術である原子力の広範囲にわたる学術・技術専門家集団として社会への情報提供を行うため、主要な活動等について、随時プレスリリースを行っています。

今回は、「2015年秋の大会」開催のお知らせです。当学会では、東京電力福島第一原子力発電所事故について、その収束と今後の教訓に資するため、学術的、技術的見地から検討を行っていますが、本大会においては、各学会等における検討状況などを一般公開セッションにて行いますのでご案内いたします。

**日本原子力学会「2015年秋の大会」開催
主な一般公開セッション（入場無料）のお知らせ
9月9日～11日 静岡大学 静岡キャンパス**

期日：2015年9月9日(水)～11日(金)

場所：静岡大学静岡キャンパス(静岡県静岡市駿河区大谷 836) (<http://www.shizuoka.ac.jp/>)

主催：一般社団法人日本原子力学会(<http://www.aesj.net/>)

ポスト福島原発事故セッション【一般公開】

9月10日(木) 10:30～12:00, K会場

「ヒューマンファクタの観点からの福島第一事故の調査報告」 座長(岡山大)五福明夫

- ・CRMの観点での事故時対応に関する訓練の導入(安全マネジメント研)石橋 明
- ・外航船舶管理専門家からみた事故時対応に関する検討(東海大)金子 仁
- ・調査まとめ(岡山大)五福明夫

9月10日(木) 13:00～14:30, K会場

「屋内退避か?避難か?災害対策における緊急時モニタリングの役割」 座長(名大)山澤弘実

- ・原子力災害対策指針が求めるモニタリング(青森県原セ)木村秀樹
- ・福島第一原子力発電所事故における福島県の緊急時モニタリングの初動対応(福島県)小山吉弘
- ・原子力関連施設の事故に伴う放射性物質の大気拡散に関する数値予測情報の活用策について(東北大,気象学会)岩崎俊樹

9月10日(木) 14:40～16:10, K会場

「原子力安全確保のための深層防護の具体的適用の考え方」 座長(安全検討会主査,法政大)宮野 廣

- ・深層防護実装の考え方(東大)山口 彰
- ・深層防護実装における課題と解決の方向性(設計)(日立GE)今野隆弘
- ・深層防護実装における課題と解決の方向性(運転管理)(関西電力)成宮祥介
- ・深層防護実装の有効性評価(名大)山本章夫
- ・総合討論 司会:(安全検討会主査,法政大)宮野 廣

9月10日(木) 16:20～17:50, K会場

「原子力技術者のリスクとの向き合い方」 座長(倫理委員長,JAEA)大場恭子

- ・浜岡原子力発電所の安全性向上対策と地域とのコミュニケーション(中部電力)吉田 博
- ・専門家と社会のリスク認知の違い(静岡大)前田恭伸
- ・コメント:対話活動を通じて(テムス研)北村正晴
- ・ディスカッション

9月11日(金) 13:00～14:30, E会場

「外的事象対策の原則と具体化」 座長(東大)関村直人

- ・個々の外的事象対策に対する安全確保の原則(東大)糸井達哉
- ・地震・津波・航空機落下対策に関する規制基準(規制委員会)更田豊志
- ・浜岡原子力発電所における地震及び津波等の外的事象に対する取り組みについて(中部電力)涌永隆夫
- ・討論 司会:(規制庁)阿部清治

9月11日(金) 9:30～16:30(終日), K会場 全体座長:(廃炉委委員長,法政大)宮野 廣

「福島第一原子力発電所の中長期戦略と研究開発」

9:30～11:25 全体セッション 座長:(廃炉委副委員長,東大)関村直人

- ・冒頭挨拶(廃炉委委員長,法政大)宮野 廣

本件に関する取材等お問合せ先

日本原子力学会事務局

TEL : 03-3508-1261 / E-mail : meeting@aesj.or.jp



- ・福島第一原子力発電所の廃炉・汚染水対策の現状と中長期的取組方針 (エネ庁) 森川裕介
- ・福島第一原子力発電所の状況 (東京電力) 増田尚宏
- ・福島第一原子力発電所廃炉の技術戦略とリスク低減 (NDF) 福田俊彦
- ・IRID の研究開発の状況 (IRID) 菅沼希一

11:25～12:05 放射性廃棄物 座長:(廃炉委, JAEA) 森山善範

- ・発生放射性廃棄物の保管 (東京電力) 石川真澄
- ・福島第一原子力発電所事故廃棄物の処理・処分研究開発 (JAEA, IRID) 宮本泰明

13:00～14:10 燃料デブリ/炉内状況 座長:(事故提言・課題フォロー分科会主査, 名大) 山本章夫

- ・原子炉格納容器調査による炉内状況の推定 (東京電力) 滝沢 慎
- ・SAMPSON コードによる事故事象進展の解析 (エネ総研) 内藤正則
- ・燃料デブリの性状把握 (JAEA, IRID) 鷺谷忠博

14:10～15:20 構造健全性 座長:(建屋の構造性能検討分科会主査, 東工大名誉) 瀧口克己

- ・原子炉圧力容器/格納容器の構造健全性 (東大, IRID) 鈴木俊一
- ・コンクリート構造物の健全性 (東北大) 前田匡樹

15:20～16:30 遠隔基盤技術 座長:(ロボット分科会主査, 名城大) 大道武生

- ・廃炉遠隔基盤技術 (東大) 浅間 一
- ・廃炉関連ロボットの開発 (IRID) 神徳徹雄

特別講演【一般公開】

9月9日(水) 10:00～11:00, K 会場 座長(静岡大) 熊野善介

「家康の大御所政治と久能山」(静岡大名誉) 本多隆成

部会・連絡会セッション

9月10日(木) 13:00～14:30, M 会場

「平成 26 年度 社会・環境部会賞各賞受賞者による講演」座長(東京電機大) 寿楽浩太

- ・優秀活動賞受賞者講演「青森県の小中学校における放射線出前授業の経験から」(日本原燃) 宮川俊晴
- ・優秀活動賞受賞者講演「除染情報プラザへの専門家派遣と環境修復への対応」(東北大) 佐藤修彰
- ・優秀発表賞受賞者講演「原発事故のミティゲーション措置に関する貨幣的評価」(広島市立大) 山根史博, (滋賀大) 松下京平, (京都大) 大垣英明, 浅野耕太
- ・業績賞受賞者講演「柏崎刈羽原子力発電所の透明性を確保する地域の会の活動について」(柏崎刈羽原子力発電所の透明性を確保する地域の会) 新野良子

9月10日(木) 13:00～14:30, F 会場

「新規制基準適合に向けた事業者の取り組みについて」座長(東海大) 可児吉男

- ・新規制基準適合に向けた高浜原子力発電所 3,4 号機における取り組みについて (関西電力) 佐藤安彦
- ・新規制基準適合に向けた浜岡原子力発電所 4 号機における取り組みについて (中部電力) 高原丈爾

9月9日(水) 13:00～14:30, B 会場

「次世代炉開発における研究炉の役割」座長(東大) 山口 彰

- ・常陽の役割 (JAEA) 前田幸基
- ・HTTR の役割 (JAEA) 稲垣嘉之
- ・研究炉への期待 (京大) 中島 健

9月11日(金) 13:00～14:30, C 会場 座長(MHI) 内田光彦

「世界のエネルギー・環境問題のモデル分析」(東大) 藤井康正

※その他のセッションについては、当学会「2015 秋の大会」HP をご覧ください。

http://www.aesj.net/activity/annual-meeting/next_meeting

大会を取材される報道機関の皆様へ

本大会の取材をご希望の際は、以下の手順でお手続きをお願いいたします。

1. 大会総受付(共通教育 A 棟 2 階)へお越しいただき、受付担当者へ名刺をお渡しください。
2. 「取材申込用紙」に氏名・社名、取材を希望されるすべてのセッション名(または会場名)をご記入ください。
3. 「報道関係者」の名札をお渡ししますので、名札を必ず付けて、取材希望セッション会場へお入りください。
4. 会場へ入られましたら、取材を開始する前に、当該セッションの座長またはセッション担当者・関係者へ必ず取材の許可を得てください。また、同会場で複数のセッションを取材する場合は、その都度当該セッションの座長またはセッション担当者・関係者へ必ず取材の許可を得てください。
個別の講演・発表として取材される際は、必ず各講師・登壇者および座長へ取材の許可を得てください。
会場内では、参加者のプライバシーへのご配慮をお願いいたします。
5. 取材が終了されましたら、総受付へ名札を返却してください。

本件に関する取材等お問合せ先

日本原子力学会事務局

TEL : 03-3508-1261 / E-mail : meeting@aesj.or.jp